

一番大切なことは「目標」を定めること

C. M.

東北大学 工学部 化学・バイオ工学科 進学
水戸市立 第二中学校 卒業

学習面で一番大切なことは目標を定めることだと思います。自身の方向性が定まることで、勉強の計画も立てやすくなり、またモチベーションの向上にもつながります。そして、目標が定まれば、自ずとそれに向かって計画が立てられるようになります。具体的には、自分の成績と目標との距離を考えて、各科目をいつまでにどの程度進めればいいのか、成績が偏らず、全体的に向上させるには、どう並行して勉強すればいいのかを自分は毎月考えていました。また、第一志望校に合格するには、勉強の量だけでなく、質も大切です。特に理系科目においては、暗記に頼らず、必ず因果関係を考え、本質を理解することが大切になってきます。この本質の理解は、入試本番において必ず皆さんの力になるので、このことを心がけて勉強を頑張ってもらいたいと思います。そして、部活動を高校でも続けようと考えている人たちは、勉強時間を確保することが大切になります。私は、バレーボール部に所属していたため、3年の6月半ばまでは、部活動に取り組んでいましたが、毎日部活動後に勉強したり、朝や授業の間の隙間時間を利用することでコツコツ勉強してきました。そして、その積み重ねが部活動引退後の本格的な受験勉強において大きなアドバンテージとなり、志望校に合格することができました。受験は地道に努力を積み重ね最後まで頑張り抜いた人たちが合格を掴み取ります。なので高校生活を楽しみつつも勉強も頑張ってください。

部活動で県大会ベスト4という目標を掲げ、その目標に向かって仲間たちと切磋琢磨しながら練習した思い出は自分にとってかけがえのないものです。そして、諦めずに努力することの楽しさを知り、礼儀などを学んだことは生活面においてもとても役立ちました。

茨高はたくさんの先生がいるので分からないところを気軽に相談できてとても勉強しやすい環境でした。また、遠足やクラスマッチなどの行事も多く高入生、一貫生関係なく交流を深められ、その後の学校生活も楽しく過ごせました。

大学での学習を通して、自分が研究したいと考えている化学分野の知識を深め、エネルギー問題などに対する解決策をつくり出せる人材になれるよう努力し続けていきたいと思っています。